

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	12-	16	
事業名	空家等対策経費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	5	1
施策	9-1 良好な居住環境の形成	課名	建設課		
		係名	都市計画係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の空家	目的 (対象がどのような状態になっているか)	空家の適正な管理が行われ、また空家利用希望者が利活用できていく状態
事業内容	東員町空家等対策計画に基づき、実態把握(定期的な空家等調査・所有者等への意向調査)、発生抑制・適正管理(所有者等への啓発、適正管理の促し)、利活用(空き家・空き地情報バンク制度の充実)を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1	空き家の活用数	0			件		2
2								
3								
4								
5								
			令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)			
全体事業費(千円) A+B			4,186	5,989	8,604			
財源内訳	直接事業費 A		28	1,831	5,832			
	うち一般財源		0	940	4,932			
人件費(千円) B			4,158	4,158	2,772			
内訳	一般職員(人・千円)		0.63	4158	0.63	4158	0.42	2772
	臨時職員(人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善(少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	R2年度から空家リフォーム支援事業補助金、空家除却支援事業補助金を創設し、空家利活用、発生抑制に取り組んだ。	③取組の課題	所有者自らの責任で適正に管理することが前提となるが、空家を取り巻く社会問題は複雑であり、所有者だけで解決することが困難となっている。
②R3年度に実施した取り組み	東員町空家等対策計画の改訂に向けて空家等実態調査を実施した。	④今後の改善計画	空家対策を効果的に進めるためには、町民、地域、NPO等の団体、行政が連携することが重要であり、具体的な方法を検討する必要がある。